

令和6年度実践記録集 第49集

えぼし



 宮城県蔵王自然の家

目 次

はじめに	1
令和6年度のあゆみ	2
I 主催事業	
1 児童・生徒対象事業	
(1)チャレンジin蔵王	3
(2)ジュニア・リーダー上級研修会	5
(3)みんなで通学合宿にチャレンジ	6
2 家族対象事業	
(1)満喫！蔵王の春	7
(2)満喫！蔵王の夏	8
(3)満喫！蔵王の秋	9
(4)満喫！蔵王の冬	10
(5)蔵王でみんなとお泊まり会	11
(6)親子で遊ぼうin蔵王	12
3 大学生・社会人・教職員対象事業	
(1)ZAO施設ボランティア養成講座	13
(2)アウトドア体験塾	14
(3)野外活動指導者研修会	15
(4)蔵王に登ろう！山ガール教室	16
(5)めぎせ！蔵王マイスター	17
(6)リフレッシュin蔵王	18
(7)みやぎ県民大学	19
4 一般	
蔵王自然の家フェスティバル	20
II 共催事業	
セカンドスクール ※令和6年度実施なし	
III 受け入れ事業(活動例)	
1 夏型活動例	21
(1)小学校A(1泊2日型)	
(2)小学校B(2泊3日型)	
(3)中学校	
(4)スポーツ少年団・子供会	
2 冬型活動例	23
(1)小学校A(1泊2日型)	
(2)小学校B(2泊3日型)	
(3)中学校	
(4)スポーツ少年団・子供会	
3 キャンプ	25
(1)デイキャンプ(2)キャンプ(宿泊)	
IV 活動を振り返って	
1 支援活動のあり方を探る	26
2 登山支援ボランティア講師・ボランティア感想	27
3 各種統計から	
(1)食事関係のまとめ	29
(2)病気とけがの様子	30
(3)活動の実施状況	31
(4)利用統計から	32
おわりに・令和6年度職員	33

はじめに

宮城県蔵王自然の家

所長 小林 正道

蔵王自然の家の所長室からは、四季折々の雄大な自然を眺めることができます。春には、芽吹く草木が生命の息吹を感じさせ、夏には、青葉が目にも優しく、すがすがしい風景が広がります。秋には、紅葉が山々を彩り、冬には、銀世界が静かに広がる、まさに絶景です。しかしながら、近年は気候変動の影響が顕著で、夏の暑さが早まり、秋の紅葉も短期間となるなど、四季の移り変わりが変化しつつあります。特に、冬の名物であった所長室前の氷柱も、その大きさが年々小さくなっており、夏の暑さも厳しさを増しています。標高の高い場所にある当施設においても、熱中症対策が欠かせなくなってきました。このような状況の中、利用者の皆さまに快適に過ごしていただくため、本年度はウインドエアコンを導入いたしました。自然の中で過ごす喜びとともに、快適な環境もご提供できるよう、今後も努めてまいります。

本年度は、以下の3点について重点的に取り組みました。

1. 学校への積極的な支援

特に「訪問型利用事前指導」に力を入れて、小中学校への支援を強化しました。社会教育主事が各学校を訪問し、「山の魅力と自然の家の活動プログラム」「所での過ごし方」「安全面での配慮」などを説明しました。実施した学校からは、「生徒たちのモチベーションが向上した」「引率教師の意識も向上した」「安全に関する理解が深まった」など、高い評価を得ることができました。

2. 「おらほの自然の家づくり」

登山ボランティアの我妻定男氏の指導のもと、『モリアオガエルの池』を再生し、豊かな自然環境を取り戻すプロジェクトを実施しました。多くの方々との協力により、初夏には見事、池の復元を果たし、自然の家の魅力を一層高めることができました。この活動を通じて、自然の家に対する愛着が深まり、運営への主体的な関心が育まれました。

3. 充実した事業づくり

本年度も、毎年好評をいただいている事業を展開いたしました。どの事業も応募倍率は2倍を超え、大きな事故もなく無事に終了いたしました。特に「チャレンジ in 蔵王」は、小学5年生から中学3年生を対象に、5泊6日の共同生活と野外活動を通して、生きる力を育むことを目的としたプログラムです。今年度は42名の小・中学生が参加し、寝食を共にする中で、登山や防災プログラム、キャンプファイヤー、ニジマスつかみなど、さまざまな活動に取り組みました。メインイベントであった南蔵王縦走は、天候悪化の予測のためコースを変更せざるを得ませんでした。参加者たちは困難な状況下でも互いに協力し合うことの重要性を学びました。さらに本年度は、蔵王町の小学校5年生を対象とした「通学合宿」を実施いたしました。30名の子供たちが2泊3日の日程で自然の家からそれぞれの学校に通学しました。互いの学校の良さを知り、子供たち同士を知り合う、とても貴重な合宿となりました。

蔵王自然の家をご利用いただいた皆様、今年度も、当施設をご利用いただき、誠にありがとうございました。皆様の素敵な笑顔や、感動の涙は、私たち職員にとって何よりの喜びであり、日々の励みとなっております。自然の中でしか味わえない感動体験を通して、心が揺さぶられ、新たな学びや発見があったと皆様から伺い、私たちもまた、この仕事に携われていることに深く感謝しております。生涯学習・社会教育の場として、今後も、自然の中で心ゆくまで学び、体験できる機会を提供してまいります。利用者の皆様に安心してご利用いただけるよう、職員一同、清掃管理業者、食堂業者、ボランティアスタッフ、関係機関と連携し、一層の学習支援の向上に努めてまいります。

来年度も、蔵王自然の家が皆様にとって、学びの場として、心やすらぐ場所であり続けられますよう、職員一同、精進してまいります。今後とも、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和6年度のあゆみ

月	日	内 容
4	2	着任式
	12	第1回消防避難訓練、AED講習会
	16	利用事前研修会1-①（6月1日～6月30日利用団体対象）
	17	利用事前研修会1-②（7月1日～7月19日利用団体対象）
	27	登山支援ボランティア研修会
	28	スプリングフェスティバル
5	8	実地踏査会1
	18～19	ZAO施設ボランティア養成講座1
	21	アウトドア体験塾
	25～26	満喫！蔵王の春
6	1	利用事前研修会2（7月20日～8月25日・夏休み利用団体対象）
	4	利用事前研修会3（8月31日～12月の利用団体対象）
	9	めざせ！蔵王マイスター1
	11	実地踏査会2
	22	親子で遊ぼうin蔵王
	30	蔵王に登ろう！山ガール教室1
7	6～7	ZAVO自主企画
	7	チャレンジin蔵王事前説明会
	9	第1回外部評価委員会
	20	めざせ！蔵王マイスター2
	27～28	MIYAGIよくばりキャンプ
8	1～2	野外活動指導者研修会
	6～11	チャレンジin蔵王
	24～25	満喫！蔵王の夏
9	11	学ぶ土台作り推進計画自然の家体験事業第1回企画委員会
	21～22	めざせ！蔵王マイスター3
	28	蔵王に登ろう！山ガール教室2
10	5～6	満喫！蔵王の秋
	20	蔵王自然の家フェスティバル2024
	26～27	蔵王でみんなとお泊まり会
11	2	利用事前研修会4（1月～3月利用団体対象）
	9～10	リフレッシュin蔵王
	24	登山支援ボランティア研修会・反省会
	27	学ぶ土台作り推進計画自然の家体験事業第2回企画委員会
12	4～6	みんなで通学合宿にチャレンジ！
	18	地震避難誘導訓練
	25～27	ジュニア・リーダー上級研修会
1	7	スキー指導者研修会
	18～19	ZAO施設ボランティア養成講座2
2	1～2	満喫！蔵王の冬
	15	蔵王に登ろう！山ガール教室3
	16	みやぎ県民大学
3	1	蔵王自然の家ボランティアの会（ZAVO）総会
	5	第2回外部評価委員会
	12	利用事前研修会5（令和7年度4・5月利用団体対象）
	27	離任式

I 主催事業

1 児童・生徒対象事業

(1) チャレンジin蔵王

①趣旨

蔵王の大自然の中で、長期間の宿泊生活や野外活動を通して、たくましく、主体的・自立的な生活をさせ、生きる力を育む。

②期日

令和6年8月6日(火)～11日(日)

③参加者数

- ・募集人数 42人
- ・申込人数 111人
- ・参加人数 41人(1名参加キャンセル)

④活動内容と日程

1日目 8月6日(火)	
時刻	活動内容
10:30	開講式
11:00	オリエンテーション①
11:15	アイスブレイク
12:00	昼食
13:00	オリエンテーション②
15:00	野外炊飯①
20:00	入浴・振り返り
22:00	消灯・就寝

2日目 8月7日(水)	
時刻	活動内容
6:00	起床
7:00	朝のつどい
7:30	朝食
9:00	カエル池をきれいにしよう
12:00	昼食
13:30	沢登り つばの滝沢コース
17:00	夕飯のつどい
17:30	夕食
18:30	洗濯タイム
20:00	入浴・振り返り
22:00	消灯・就寝

3日目 8月8日(木)	
時刻	活動内容
6:00	起床
6:30	朝のつどい
8:00	朝食
9:00	野鳥の森をきれいにしよう 昼食

13:30	নিজマスつかみ
16:00	南蔵王縦走登山オリエンテーション
17:00	タベのつどい
17:30	夕食
18:30	入浴・振り返り
20:00	消灯・就寝

4日目 8月9日(金)	
時刻	活動内容
	登山コース付近に雷注意報が発表されたためと予定の登山コースを変更した。
6:00	起床
6:45	朝食
7:30	バスに乘車、出発
8:00	南蔵王野営場着、出発式 南蔵王野営場～神嶺林道～蔵王自然の家
13:30	自然の家到着
14:00	到着式
17:00	タベのつどい
17:30	夕食
18:30	入浴・振り返り
21:00	消灯・就寝

5日目 8月10日(土)	
時刻	活動内容
6:00	起床
7:00	朝のつどい
7:30	朝食
9:00	野外炊飯②
15:00	スタンプ準備
17:00	タベのつどい
17:30	夕食「バイキングパーティー」
19:00	キャンドルファイヤー
20:30	入浴・振り返り
22:00	消灯・就寝

6日目 8月11日(日)	
時刻	活動内容
6:00	起床
7:00	朝のつどい
7:30	朝食
9:00	班活動「振り返り」
9:30	お別れ会、感想発表
11:00	閉講式
11:30	解散

⑤講師

我妻 定男 氏 渡邊 典男 氏 佐々木 知明 氏
 深堀 孝 氏 田村 信幸 氏
 (蔵王自然の家登山支援ボランティア)
 鳴海 文夫 氏 (ことりはうす)

⑥活動アシスタント

大友 彩弥香 佐藤 有紗 保坂 大
山村 美唯 藤原 条太 齋藤 祐也

⑦参加経費

14,700円

⑧参加者アンケート (回答数 39)

- ・参加しての満足度を教えてください。
とても満足している。・・・27
まあまあ満足している。・・・12
- ・自然の中で活動すること
よくできた・・・31
できた・・・8
- ・きまりを守って、規則正しく生活すること
よくできた・・・13
できた・・・21
あまりできなかった・・・4
できなかった・・・1
- ・違う年れいや学校の人と友達になること
よくできた・・・37
できた・・・2
- ・家族以外の人と生活すること
よくできた・・・35
できた・・・3
あまりできなかった・・・1
- ・いろいろな大人の人とかかわること
よくできた・・・32
できた・・・7

⑨保護者アンケート (回答数 36)

- ・お子さんが本事業に参加したことに対する満足度
とても満足している・・・30
まあまあ満足している・・・5
あまり満足していない・・・1
- ・本事業の期間について
ちょうどよい・・・29
もっと長くてよい・・・7
もっと短くてよい・・・0
- ・参加費について
ちょうどよい・・・26
もっと高くてよい・・・9
もっと低くてよい・・・1
- ・曜日設定について
この曜日設定でよい・・・23
どちらでもよい・・・11
違う曜日設定がよい・・・2

⑩参加者アンケート自由記述から

- ・楽しくなかったことは一つもありません。来年絶対に参加したいです。
- ・私が一番楽しかったのはキャンプファイヤーです。班のみんなと何をするか話し合い、楽しいスタンプをす

ることができました。最後の最後に思い出を作ることができてうれしかったです。

- ・班のみんなの気持ちがまとまらなくて困ったこともありましたが、最後の野外炊飯やキャンドルファイヤーで協力することができました。これまで班のことでいろいろ考えてきたのでとてもうれしかったです。
- ・自分で考えて行動したり、仲間と話し合っ決めてたりすることはたいへんなこともありました。これからは何か困ったことがあったらこの6日間で感じたことを思い出して生活していきたいです。

⑪保護者アンケート自由記述から

- ・娘にとって一生忘れない大切な時間、思い出になることと思います。たいへん感謝しております！ありがとうございました。
- ・夢のような貴重な体験をさせていただきました。一生の財産になったことと思います。これも、長い時間と労力をかけ、想定される多くのアクシデントを見越して準備して下さった、全ての関係者の皆さんのおかげです。心から感謝申し上げます。
- ・最終日に仲良くなった友達やスタッフの方々との別れが寂しくて、泣いていた息子の姿を見て心を打たれました。参加して本当に良かったなと思います。その帰り道に、楽しかったエピソードをたくさん話してくれました。

⑫担当者から

- ・参加者、保護者とも事業のよさを実感し、高い満足度が得られた。保護者の感想では、発達段階における事業の効果や事前と事後の変容を保護者が感じていることが分かった。
- ・野外炊飯を2回実施した。個人や班で工夫点や改善点を発見し、2回目は充実した班活動ができた。
- ・各活動で講師の蔵王に対する思いを参加者に伝えることができた。
- ・登山予定日の数日前から当日の雷の予報が発表され、登山コースの数コースの中から選定することになった。今後は、候補となっているコースを含めて3コースを毎年固定し、コース変更に対応できるように年間を通じて点検や整備をしていきたい。(担当：武山)



(2) ジュニア・リーダー上級研修会

①趣旨

子ども会活動の支援や地域活動を行う年少リーダーに、発展的な活動についての理解を深めさせ、自主的な活動意欲を高めさせる。

②期日

令和6年12月25日(水)～27日(金)

③参加者数

- ・募集人数 40人
- ・応募人数 24人
- ・参加人数 23人

	男	女	計
大河原教育事務所管内	1	6	7
仙台教育事務所管内	6	10	16
計	7	16	23

④主な活動内容と日程

時刻	1日目 12月25日
9:30	開講式
9:45	受講にあたって
10:15	レクリエーション/アイスブレイク
11:15	ジュニア・リーダーに望むこと
13:00	子どもの理解
15:00	救命救急講習
16:00	ジュニア・リーダーの現状と課題
18:00	事業企画①②
20:00	活動のまとめ
時刻	2日目 12月26日
9:15	スノーシュートレッキング
10:00	ジュニア・リーダーの役割
13:00	事業企画③
15:00	避難所運営ゲーム
18:00	創作活動
19:30	事業企画④
20:30	活動のまとめ
時刻	3日目 12月27日
9:00	事業企画⑤
10:00	事業企画⑥企画発表会
13:00	活動のまとめ
14:00	閉講式

⑤講師

新田新一郎 氏 (プランニング開)
 滝 航太 氏 (白石消防署蔵王出張所)
 三浦 純 氏 (村田町教育委員会生涯学習課)
 我妻 定男 氏 (蔵王工芸)
 伊藤 伸 氏 (蔵王高等学校)
 佐藤 文則 氏 (大河原教育事務所)
 菅原 秀樹 氏 (大河原教育事務所)
 蔵王自然の家職員

⑥参加経費

3,900円

⑦アンケートから

- ・尊敬する心を大事にして、自他の幸せを目標に目的と意義のある内容にすることができた。また、J・Lという社会の一員として、力や能力を、この3日間で今までより質の良い状態で発揮できるようになった。
- ・自分はこれからJ・Lとしてどうしていきたいかという問いの答えを探り出していく良いヒント、きっかけを得ることができました。

⑧担当者から

- ・1日目の「ジュニア・リーダー活動の現状と課題」では、ワールドカフェ方式の話し合いを行い、情報共有を行った。
- ・2日目は蔵王ならではの自然体験であるスノーシュートレッキングや、個人の創造性と地域資源を生かした創作活動を実施した。安全教育では地域社会の担い手としての意識を高めるため、避難所運営ゲームを実施した。講師の伊藤氏との事前の打ち合わせを行ったことで、研修のテーマを踏まえた活動を行うことができた。「ジュニア・リーダーの役割」では講師の三浦氏の熱い思いに触れ、受講者の意欲が高まった。
- ・3日目は事業企画発表会を行った。前日の菅原氏の助言を踏まえて、ねらいを明確にし、講師の先生方のこれまでの取り組みを生かして企画するなど、どのグループも工夫の見られる発表となった。(担当:村上)

(3) みんなで通学合宿にチャレンジ!

①趣旨

参加者が家庭を離れ、学校に通学しながら共同生活を送り、様々な生活体験活動を通して協力し合い、よりよく生活する能力を高めるとともに、基本的な生活習慣の定着や規範意識の向上を図る。

②期日

令和6年12月4日(水)～12月6日(金)

③参加者数

- ・参加対象 蔵王町立小学校5年生
- ・募集人数 30人程度
- ・申込人数 30人
- ・参加人数 30人

④活動内容と日程

時刻	第1日目
16:00	小学校からバスで蔵王自然の家へ移動
17:00	であいのつどい オリエンテーション、入室・荷物整理
17:30	夕食
18:30	宿題タイム
19:00	交流タイム・自由時間
20:00	入浴
21:30	就寝準備
22:00	完全消灯
時刻	第2日目
6:00	起床・清掃・洗面
6:30	あさのつどい
6:45	朝食(食堂定食)
7:30	蔵王自然の家からバスで小学校へ登校 ※学校で生活
16:00	小学校からバスで自然の家へ移動
16:30	宿題タイム
17:20	ゆうべのつどい
17:30	夕食(食堂定食)
18:30	創作活動 (マイスプーン・フォークづくり)
20:00	交流タイム
21:30	入浴
22:00	就寝準備 完全消灯
時刻	第3日目
6:00	起床・清掃・洗面・荷物整理
6:30	あさのつどい
6:45	朝食(食堂定食)
7:20	わかれのつどい
7:30	蔵王自然の家からバスで小学校へ登校 ※事業終了

⑤参加経費

2,600円

⑥アンケートから

- ・他の小学校の人と仲良くなれました。中学校でまた会えるのが楽しみです。
- ・通学合宿を経験させていただき、ありがとうございます。通学合宿では、教えてくれる先生や友達が最高でした。
- ・お部屋がとてもきれいで、お風呂もとてもよかったしやったことすべてよかったので、またこういう企画があってもいいと思います。
- ・他校の小学校の人たちと仲良くなれたし、もともと仲良かった友達とももっと仲良くなれたし、テレビやスマホ、ゲームがなくても友達がいれば楽しくあきずに過ごせることを知りました。もう1回行きたいです。
- ・仲良くなれるか最初は不安だったけど、最後はいろいろな人と仲良くできて、とてもうれしかったです。
- ・時間の使い方など、まわりの子とのかかわりで、お互いに注意したり話せたりできてよかったです。
- ・自然の家の人や他の学校の人と楽しく笑顔で最後までやれて、自然の家の人に感謝したいです。

⑦担当者から

- ・蔵王町教育委員会や町内の小学校の協力のもと、今年度は町内の小学5年生を対象に実施した。寝食を共にしながら共同生活を送ることで、協力することの大切さや人とふれあうことの楽しさを感じる児童が多く、小学校区を超えた交流を深めることができた。
- ・今回の成果や課題をもとに、次年度へ向けてさらに充実した事業となるよう進めていく。(担当:相原)



2 家族対象事業

(1) 満喫！蔵王の春

①趣旨

蔵王の春の自然に親しむ活動をとおして、親子のふれあいを深める。

②期日

令和6年5月25日(土)～26日(日)

③参加者数

- ・募集人数 30家族 100人
- ・申込人数 78家族 234人
- ・参加人数 37家族 94人
(2家族6名キャンセル)

④活動内容と日程

時刻	第1日目
10:00	であいのつどい
10:50	ベッドメイキングタイム、昼食
11:50	講話「自然を大切にすること」
12:15	【生き物にありがとう】
～	ニジマスつかみ～いただきますを考えよう～
16:15	【森にありがとう】
	森のおそうじ～元気な森をつくろう～
17:00	夕べのつどい
17:30	夕食(食堂定食)
18:30	【木にありがとう】森の工作室
～19:30	マイスプーン・フォーク、森の置物など
19:45	入浴・休憩
22:00	消灯・就寝
時刻	第2日目
6:00	起床
7:00	朝のつどい
7:30	朝食
8:15	荷物移動、活動準備
9:30	【食べ物に感謝「野外炊飯・カレーライス」】 ～家族とみんなと協力して、 世界一おいしいカレーライスを作ろう～
14:00	わかれのつどい
14:30	解散

⑤講師

佐々木 知明氏 深堀 孝氏 片岡 光司氏
(蔵王自然の家登山支援ボランティア)
鳴海 文夫氏(ことりはうす)

⑥活動アシスタント(敬称略)

佐藤 有紗 四竈 快 山村 美唯 保坂 大

⑦参加経費

2,700円

⑧アンケートから

- ・知らない場所で、知らない人たちと我が子がどんな行動をとるのか興味がありました。人見知りかと思っていたら、かなり積極的に人とかかわる姿に驚き、新たな一面に気付くことができました。
- ・子供に主体性を与えて「やらせる」ことが大切だと痛感しました。子供の顔が楽しさにあふれ「また来たい」と言っています。
- ・夕べのつどいで息子が家族紹介をしました。自ら立候補したこと、家族にとって忘れられない思い出です。
- ・子供は怖がり、マッチは使ったことがありませんでしたが、かまど係で火をつけることができました。自分でできることはやろうと努力する姿を見ることができて、親としてとてもうれしかったです。
- ・仕事ばかりで子供たちとはあまり話をする時間がなく、このような機会のおかげで、たくさん話をすることができました。一緒に時間を過ごすことは大切だと感じました。

⑨担当者から

- ・「ありがとう」というテーマを参加者が意識し、「規律・協同・友愛・奉仕」の蔵王自然の家のめあてを守って生活しようとする姿が見られた。
- ・「家族間の交流場面」を設定した。参加者同士も趣旨を理解し、互いを思いやる雰囲気生まれた。
- ・体験や思い出だけでなく、家族写真や家族へのメッセージを書いた色紙づくり、家族で共通する創作活動など形に残るものも提供できた。(担当：武山)



(2) 満喫！蔵王の夏

①趣旨

蔵王の夏の自然に親しむ活動を通して、親子のふれあいを深める。

②期日

令和6年8月24日(土)～25日(日)

③参加者数

- ・募集人数 30家族 100人
- ・申込人数 168家族 469人
- ・参加人数 35家族 90人
(3家族10人キャンセル)

④活動内容と日程

時刻	第1日目
9:00	受付
9:30	であいのつどい
10:00	沢遊び・沢登り
12:00	昼食
13:00	ニジマスつかみ
17:00	タベのつどい
17:30	夕食
18:30	牛乳パックランタンづくり
19:30	入浴、デザート
22:00	消灯・就寝
時刻	第2日目
6:00	起床
7:30	朝食
8:45	部屋点検
9:30	野外炊飯～カレーライス～
14:00	わかれのつどい、解散

⑤講師 (蔵王自然の家登山支援ボランティア)

我妻 定男氏 (沢登りコース)
佐藤 芳樹氏 (沢登りコース)

⑥活動アシスタント (敬称略)

佐藤 有紗 四竈 心 林 大夢 佐々木 叶羽

⑦参加経費

2,500円

⑧アンケートから

- ・沢遊びが楽しかった。アシスタントのお兄さんと楽しく遊ぶことができた。

- ・生きているニジマスを殺して食べることや、野外炊飯で昔ながらの調理法などを体験できて良かった。
- ・子供にとってすべてが初めての体験で、一緒に活動できてとても楽しかったです。
- ・普段できない経験をすることができました。今後も続けてほしいです。
- ・沢遊びは初めての体験でしたがとても楽しかったです。皆さんのサポートもあったので安全に楽しめました。
- ・普段できないことをたくさん経験できたので良かったです。特に沢遊びが楽しめました。
- ・2022年夏以来の参加でした。今回は娘もつれてこれ、楽しく過ごすことができました。また参加したいです。
- ・新しく窓エアコンが入っており、快適だった。
- ・初めて参加しましたが、親子で楽しい思い出となりました。息子は他の季節の事業にも参加したいと言っています。
- ・県の主催の行事ということで初めて参加したのですが、参加料がこれでいいのですか?というくらい充実した内容で楽しめました。参加を希望した子供たちも大変満足していたようです。
- ・とても楽しかったです。また参加したいです。

⑨担当者から

- ・夏の蔵王ならではの活動として、沢遊び・沢登りやニジマスつかみを中心とした活動を行った。参加者の満足度が高く、好評であった。
- ・気温が高く、体調不良が心配されたが、全室にエアコンが設置されたため、快適に過ごしてもらうことができた。
- ・大気が不安定な状況が続いていたため、予定していた活動の時間や内容を変更し、安全に実施することができた。(担当：半田)



(3) 満喫！蔵王の秋

①趣旨

蔵王の秋の自然に親しむ活動を通して、親子のふれあいを深める。

②期日

令和6年10月5日(土)～6日(日)

③参加者数

募集人数 30家族 100人程度
申込人数 104家族 289人
参加人数 33家族 100人

④活動内容と日程

時刻	第1日目
9:00	受付開始
9:30	であいのつどい
10:00	秋の創作活動
12:30	昼食(持参弁当)
13:30	野外炊飯
18:30	秋の星空観察
19:45	夕べのつどい
20:00	入浴
22:00	消灯・就寝
時刻	第2日目
5:30	朝焼けを見よう
6:00	起床・洗面・荷物整理
6:45	朝のつどい
7:00	朝食(食堂定食)
9:30	御釜登山開始
13:30	登山終了・解散

⑤講師

池田 尚人 氏
(岩沼市立岩沼中学校 校長)
佐々木知明 氏
川内 禎子 氏
片岡 光司 氏
(蔵王自然の家登山支援ボランティア)

⑥活動アシスタント(敬称略)

益子 陽人 佐藤 有紗
四竈 心 櫻井 溪

⑦参加経費

2,700円

⑧アンケートから

・あまりいい天気ではなかったが、いくつかの

- 奇跡が起きて、とてもいい体験ができました。
- ・蔵王自然の家は、30年ぶりでした。変わらないままで懐かしく、子供たちに良さを伝えられてよかったです。
 - ・思っていた以上に自宅から遠く、運転が大変でしたが、大自然を満喫できました。他の家族とも仲良くなれて嬉しく思います。
 - ・昨年も参加しました。登山ではほぼ歩かなかったけど、今年は自ら登山したいと頑張っていました。
 - ・貴重な体験ができ、よかったです。星空と御釜が奇跡的に見ることができよかったです。
 - ・子供たちが御釜を見てすごく楽しそうだったので、来てよかったです。
 - ・個人でも利用させてもらっていて、とてもいいと思っています。色々な体験をさせていただいて感謝しています。
 - ・職員の方もアシスタントの方もとても対応良く、感謝しております。また機会があれば参加させて頂きたいと思います。

⑨担当者から

- ・今年の満喫！蔵王の秋は、「家族で挑戦」をテーマに、登山や野外炊飯、創作活動を家族ごとに行った。
- ・星空観察では、最初、雲がかかっていた星が見られなかったが、少しずつ雲が晴れ、見られるようになった。また、登山でも小雨の時間があったが、御釜に近づくにつれ、天気が晴れ、御釜もよく見られた。そのこともあり、参加者の満足度も高く、好評であった。

(担当：永田)



(4) 満喫！蔵王の冬

大友 彩弥香 富澤 梨々花 四竈 心

①趣旨

蔵王の冬の自然に親しむ活動を通して、親子のふれあいを深める。

②期日

令和7年2月1日(土)～2日(日)

③参加者数

- ・募集人数 30 家族 100人
- ・申込人数 104家族 308人
- ・参加人数 34 家族 97人
(1家族3人キャンセル)

④活動内容と日程

時刻	第1日目
9:30	受付開始
10:15	であいのつどい
10:30	スキーオリエンテーション
11:00	歩くスキー・スノーシュー体験
12:10	昼食(持参弁当)
13:00	雪の中でとことん遊ぼう ・雪像作り ・歩くスキー、スノーシュー練習 ・そり遊び
17:00	夕べのつどい(代表者の参加による)
17:30	夕食(食堂定食)
18:30	スノーキャンドルナイト
19:30	入浴
22:00	消灯・就寝
時刻	第2日目
6:30	起床・洗面・荷物整理
7:10	朝のつどい(代表者の参加による)
7:30	朝食(食堂定食)
9:00	スノートレッキング/歩くスキー、スノーシュー
11:15	活動終了・スキー等片付け
12:00	昼食(食堂定食)
13:00	わかれのつどい
13:30	解散

⑤講師

深堀 孝氏 深堀 好子氏 我妻 定男氏
佐々木知明氏 小室 美雪氏 川内 禎子氏
(蔵王自然の家スキー講師)

⑥活動アシスタント

佐藤 有紗 保坂 大 野内 研佑

⑦参加経費

2,500円

⑧アンケートから

- ・スノーシューは親子ともはじめてで、楽しませていただきました。
- ・よく考えられたプランとコーディネートありがとうございました。
- ・素晴らしい時間でした。同室の方も含め、本当に楽しかったです。
- ・そりを指導してくれる方の説明が良かった。
- ・施設が思っていたより、あたたかでした。
- ・トレッキングの雪すべりが良かった。ガイドの方の細かい説明が分かりやすかった。
- ・スノートレッキングの上り坂、下り坂を進むのが楽しかった。大人も楽しめました。
- ・自然の家で生活したことは、とても良い経験をさせることができました。本当にありがとうございました。
- ・雪の中を歩く楽しみを知りました。子供たちも楽しめたようです。
- ・講師の先生方やアシスタントのみなさんが親切で、心から蔵王の冬を満喫することができました。
- ・1泊2日冬の遊びを満喫できました！普段できない遊びが多くて良かったです。
- ・トレッキングの面白さの他に、雪山での遊び方も教えてもらえて充実した日程でした。
- ・動物の足跡を見ることができてよかった。

⑨担当者から

- ・親子で協力して活動できる時間を十分に確保できた。参加家族は、親子で会話を楽しみながら普段できない活動をすることで、蔵王の冬を楽しんでいる様子がアンケートの結果からも見られた。
- ・オリエンテーション室を休憩所として設定し、温かい飲み物を自由に飲めるようにした。多くの家族が集い、親同士の交流や、子供同士の交流が深まった。(担当：半沢)



(5) 蔵王でみんなとお泊まり会

【学ぶ仕台づくり推進事業】

①趣旨

様々な自然体験活動を通して、幼児の主体性や社会性を育み、自然体験活動の効果や円滑な親子の関わり方について学ぶ。

②期日

令和6年10月26日(土)～10月27日(日)

③参加者数

- ・募集人数 20家族 60人
- ・申込人数 143家族 493人
- ・参加人数 20家族 62人

④活動内容と日程

時刻	第1日目
9:20	受付
9:40	であいのつどい
10:00	野外ゲーム
11:00	ニジマスつかみ
12:30	お昼ごはん
13:30	野原でのんびり
14:15	【子供】「外でおもいっきりあそぼう」 ・自由遊び、アシスタントと遊ぶ 【親】「親の学びタイム」 ・講演・演習「親子の触れ合い～絵本を開いてみませんか」
17:10	夕べのつどい
17:30	夕食
18:30	チャレンジプログラム
19:30	入浴
21:00	消灯・就寝
時刻	第2日目
6:30	起床
7:15	朝のつどい
7:30	朝食
9:00	お部屋の点検
9:30	集合写真 撮影
9:45	みんなと野外でごはんをつくろう！ ・芋煮づくり ・おにぎりづくり
13:45	わかれのつどい

⑤組織・体制等

【企画委員】

伊藤 誠氏 大宮 長子氏 佐々木 とし子氏
金峯 照美氏 吉田 展世氏 小原 美和氏
安部 信次氏 佐藤 文則氏 菅原 秀樹氏
元木 耕一郎氏

【講師】

大宮 長子氏 (元川崎町立かわさきこども園園長)

【活動アシスタント】 (敬称略)

佐藤 有紗 山村 美唯 後 海咲 今野 里美

⑥参加経費

2,800円

⑦アンケートから

- ・親自身も、ついスマホばかり見ていて、子供はテレビやゲームなど、家の中でバラバラなことをやって過ごしているな…と反省。こんなにも家族でいろいろなことをする満足感があつたのに、子供の時間を無駄にしていることに気がきました。
- ・子供と丸々2日触れ合う日って、子供が赤ちゃんの時以来だったという事実で自分が驚きました。普段は下の子のことや、仕事、家事…で、なかなか。このような時間は自ら作っていかねばな、と、子供と向き合う時間の大切さに改めて気が付きました。
- ・2日間、子供達もとても楽しかったようです。帰りたいくない、もっといたい、もっといたいとずっと言うほど名残惜しいようでした。ありがとうございました。
- ・自然の中で遊ぶことでいつも以上に楽しそうにしていた。絵本の読み聞かせの大切さを改めて実感しました。

⑧担当者から

- ・第1回の企画委員を少し早い時期に行うことで、企画委員の方々の意見も取り入れて企画運営を行うことができた。
- ・親の学びタイムでは、講師を中心として企画委員がサポートし、講演・演習を行った。企画委員の子育てサポーターの方々に遊びのブースを設置してもらうなど、これまで以上に企画委員全体で作り上げる事業になったと感じている。
- ・2日目の野外クッキングでは、親子で芋煮とおにぎりを作ることができた。ステップ台なども活用し、幼児でも調理ができるように場の工夫も行った。実際に幼児も包丁を握って野菜を切るなどの活動もできた。
- ・11月に第2回企画委員会を開き、事業の反省を行った。(担当：村上)



(6) 親子で遊ぼう in 蔵王

【学ぶ土台づくり推進計画事業】

①趣旨

未就学児童とその保護者を対象とし、蔵王の自然の中で体験活動に親しみながら親子の絆を深める。

②期日

令和6年6月22日(土)

③参加者数

募集人数 30家族 100人
申込人数 39家族 135人
参加人数 28家族 100人

④活動内容と日程

時刻		
9:40	受付	
10:00	であいのつどい	
10:20	【Aグループ】 葉っぱで遊ぼう 広場で自由遊び	【Bグループ】 ニジマスつかみ
12:00	昼食(弁当持参) ジェラート配布	
13:15	【Aグループ】 ニジマスつかみ	【Bグループ】 葉っぱで遊ぼう 広場で自由遊び
15:00	わかれのつどい・解散	

⑤活動アシスタント(敬称略)

佐藤 有紗
藤原 条太
安達 萌夏
保坂 大
四竈 心
富澤 梨々花

⑥参加経費

510円

⑦アンケートから

- ・親の手を離れ、スタッフの方や他の子の所へ行くのをとても楽しみにしており、今日もほとんどそうだった。成長を感じつつ、子供との時間を大切にしようと思った。
- ・保護者1人での参加だったので2人の子供に目が行き届きませんでした。スタッフさんがフォローしてくれたので助かりました。

- ・普段、自然の中で遊ぶことが少ないので、このようなイベントは本当にありがたいです。川遊びをさせてあげたいけれど、危険なこともあると思うので、スタッフの方が色々教えてもらえると本当に助かります。
- ・色々な年齢の子と、住んでいる場所も違う子と触れ合えて、初めて自分で魚を採ってさばいておいしくいただけ、いい体験ができました。ありがとうございました。
- ・命の大切さを子供に感じてもらうことができました。自然の良さを再認識しました。
- ・コロナ禍が続き、集団でいろいろな経験をさせることがなかなか出来なかったため、参加して本当に良かったです。
- ・ゆったりとしたスケジュールで、のびのびと過ごせた。
- ・貴重な機会をありがとうございます。自然の中で遊べて子供たちはとても楽しんでいました。また絶対に参加させてください。秋と冬にまた来ます!

⑧担当者から

- ・ニジマスつかみや葉っぱを使った創作活動を取り入れ、蔵王ならではのプログラムを体験してもらうことができました。
- ・対象年齢を考え、ゆとりをもった計画を立てたため、時間に余裕をもって活動することができました。(担当:村上)



3 大学生・社会人・教職員対象事業

(1) ZAO施設ボランティア養成講座

①趣旨

蔵王自然の家の利用者のニーズに対応するため、実践的な研修を通して、野外教育施設を支える人材を育成する。

②期日

第1回令和6年5月18日(土)～19日(日)

第2回令和7年1月18日(土)～19日(日)

③参加者数

	第1回	第2回
募集人数	20人	20人
申込人数	21人	15人
参加人数	21人	12人

④活動内容と日程

	活動内容
第1回	「ボランティアの心構え」 「スコアオリエンテーリング」 「森の置物」 「アシスタントの役割」 「野外炊飯」
第2回	「クロスウェービング」 「歩くスキー」 「雪遊びとスノーキャンドル」 「フェスティバルの企画」 「スノーシュートレッキング」

⑤講師

所員

⑥参加経費

第1回2,000円

第2回2,000円

⑦アンケートから

第1回

- ・久しぶりの活動で、忘れていた点や改めて気付かされる点が多くあり、有意義に過ごすことができた。
- ・ボランティアとしてどう行動すればよいか学ぶことができた。
- ・活動の後に、ボランティアとしてどう動くか考える時間があり、楽しんだ後にしっか

り支援する側の立場で考えることができた。

- ・実際に経験することで、どのような支援をするかイメージがしやすく、モチベーションも上がった。
- ・どきどきわくわくしながら、活動に入っていくことができた。これからは、子供たちとの交流する場も増えていくと思うので、人と人とのつながりを大切にしていきたい。

第2回

- ・蔵王の魅力を学びつつ、利用者とアシスタントの関係性を意識でき、良かった。
- ・歩くスキーはすぐできるだろうと思っていたが、いざやってみると、バランスをとるのが難しく、慣れるのに時間がかかった。子供たちに教えるとなると、簡単に分かりやすく教えないといけないので、難しいと思った。
- ・「参加者」と「アシスタント」という立場に分かれて研修を行う時間があり、実際に支援する流れを知ることができよかった。参加者同士で意見を交流することもでき、様々な視点から活動について考えることができた。
- ・学校も学年も職業も違う人が、今回、このような場で集まり、出会えたことが非常に楽しかった。
- ・活動の中で失敗しても、皆がサポートしてくれたので、うまくいなくても何度でもチャレンジしようと思えた。

⑧担当者から

- ・各活動の中でアシスタントとしてどのようなことができるかを考えさせることで、実際の場面で役立つようにすることができた。
- ・養成講座を経て、ZAVOに登録する人も多く、実際に主催事業に参加する人もいた。今後も活躍を期待する。

(担当：永田)



(2) アウトドア体験塾

①趣旨

蔵王自然の家の野外活動に関するプログラムを学習、体験し、野外活動の基礎的知識を身に付ける。

②期日

令和6年5月21日(火)

③参加者数

- ・募集人数 30人
- ・申込人数 10人
- ・参加人数 10人

④活動内容と日程

時刻	活 動 内 容
9:00	受付
9:15	開講式
9:30	①野外炊飯 【カレーライス】
13:00	②アクティビティ 【ニジマスつかみ】
14:30	③アウトドア体験塾情報交換コーナー ○同時時間帯に大河原教育事務所管内 青少年担当者会議も開催
16:00	閉会、解散

⑤講師

①、②、③とも所員が担当、大河原教育事務所管内青少年担当者会議は大河原教育事務所が運営

⑥参加経費

1,100円

⑦アンケートから

- ・丁寧にポイントを説明していただきありがとうございました。雨天用のキャンドルファイヤーのやり方を知りたいです。
- ・大人になって野外でアウトドア体験塾をできて充実した一日となりました。
- ・沢登りもやってみたいと思いました。キャンプファイヤーも機会があればやってみたい。
- ・大人になって蔵王自然の家を体験すると、また違った学びを得ることができた。次は指導を行う側として参加したい。
- ・引率児童やジュニア・リーダーがいることを想定して活動できました。
- ・協力して作り上げる喜びを味わうことができた。
- ・子供たちに食べ物への感謝の気持ちを養ってもらいたいです。

⑧担当者から

- ・少人数だったため、参加者のニーズに応じながら、研修を進めることができた。
- ・活動を通して参加者同士の交流が深まっていた。
- ・大河原教育事務所と協力することで昨年度よりも参加者は多かったが、社会教育関係者以外でも参加したくなるようなPR方法を検討する必要がある。
- ・引き続き教育事務所の担当者や市町村の生涯学習担当とのネットワークを大切にし、本事業に参加しやすい雰囲気を維持していくとよい。

(担当：半田)



(3) 野外活動指導者研修会

【みやぎ環境税活用事業】

【初任者研修（3年目）・

中堅教諭等資質向上研修対象事業】

①趣旨

自然体験活動を通して野外活動の楽しさを味わい、その基礎的な技能及び知識を習得し、野外活動を指導・支援する上での資質向上を図る。

②期日

令和6年8月1日（木）～2日（金）

③参加者数

・募集人数 30人

・申込人数 38人

・参加人数 35人

④活動内容と日程

時刻	第1日目
9:30	開講式
10:30	研修1 実技 「命を学ぶ！ニジマスつかみ体験」
12:30	研修2 講義 「野外活動の基本と安全について」
14:30	研修3 実技 「野外炊飯の基本について」
18:30	自主研修1・2「実技及び情報交換」 「夜間における野外活動について（キャンプファイヤー）」
時刻	第2日目
7:20	研修4 実技 「子どもに味わわせたい達成感を体感しよう」 ～チャレンジ！ザ・蔵王登山～
15:40	閉講式

⑤講師

佐々木知明氏 深堀 好子氏 渡邊 典男氏

（蔵王自然の家登山支援ボランティア）

⑥参加経費

2,400円

⑦アンケートから

- ・達成感を強く感じました。子供と登ってみたい。他の先生との関わりや活動を通して、学校現場では学ぶことができないことをたくさん学ぶことができた。また、体験して、自分の課題に改めて気付いた部分もあるため、この体験を教師力の向上につなげたい。
- ・自然の良さを感じながら、周りの人のおかげで最後まで楽しく登ることができました。一人でもできるけれども、周りの人と協力し、声をかけながらやることで、何倍も楽しく、達成感を味わえるのだとわかりました。子供達にも伝えたいです。
- ・知識はもちろん、学級経営をするにあたって大切なものをたくさん気付かせてもらいました。自然の中でどう考え、工夫して行動することが必要か学びました。子供達にもこういった充実した活動を通して成長してほしいと思いました。



⑧担当者から

- ・初任者研修（3年目）、中堅教諭等資質向上研修対象事業、また、みやぎ環境税活用事業として本事業を実施した。
- ・研修内容については、野外活動に児童・生徒を引率する上で、必要な知識と技能を学ぶことができる内容を構成した。
- ・研修を通して、子供たちにとって野外活動は、教室の中では味わえない学びを得ることができることを、参加者が感じる事ができたと考える。（担当：村上）



(4) 蔵王に登ろう！山ガール教室

【みやぎ環境税活用事業】

①趣旨

蔵王の登山を通して、自然の美しさや環境に触れ、登山の楽しさを味わう。

②期日

第1回 令和6年 6月30日(日)

第2回 令和6年 9月28日(土)

第3回 令和7年 2月15日(土)

③参加者数

	第1回	第2回	第3回
募集人数	40人	30人	45人
申込人数	66人	47人	44人
参加人数	34人	29人	42人

④活動内容と日程

<第1回>

「刈田岳～馬の背～熊野岳」

時刻	活動内容
9:00	集合…蔵王町営無料駐車場 受付・開講式
10:00	刈田無料駐車場から登山開始
12:10	熊野岳山頂(昼食、休憩)
14:00	刈田無料駐車場到着、閉講式
15:00	解散…蔵王町営無料駐車場

<第2回>

「刈田駐車場～地藏岳(往復)」

時刻	活動内容
8:15	受付・開講式
8:30	蔵王町営無料駐車場出発(バス)
9:30	刈田無料駐車場から登山開始
12:15	地藏尊到着(昼食、休憩)
15:00	刈田無料駐車場到着
16:00	閉講式 解散…蔵王町営無料駐車場

<第3回>

～冬にだけ出会える蔵王の森を見に行こう～

時刻	活動内容
9:00	開講式
9:10	トレッキングオリエンテーション
9:30	自然の家出発 野鳥の森コース
11:45	雪上でランチ
14:15	自然の家到着・閉講式
14:30	解散

⑤講師

渡邊 典男 氏(第1、2回)

佐々木知明 氏(第1、3回)

片岡 光司 氏(第1、3回)

深堀 好子 氏(第2、3回)

深堀 孝 氏(第2、3回)

小室 美雪 氏(第3回)

赤坂 克之 氏(第3回)

田村 信幸 氏(第3回)

(自然の家登山支援ボランティア)

(自然の家スキー講師)

⑥参加経費

第1回 500円

第2回 500円

第3回 500円

⑦アンケートから

- ・大変貴重な時間を過ごさせて頂きました。自然に触れることができ、リフレッシュできました。
- ・一人ではいけないところなので、山に登る機会を作ってもらいうれしい。
- ・友人や家族だけでの登山だと植物などの名前がわからないため、いろいろ聞けてよい。

⑧担当者から

- ・主に初心者を対象にして事業を実施した。装備や登り方の注意点に加え、それぞれの時期に応じた達成感を味わえる行程としたことで、参加者の満足度が高かった。

(担当：半田、永田、武山)

(5) めざせ！蔵王マイスター

【みやぎ環境税活用事業】

①趣旨

蔵王の歴史や文化、自然に関する基礎知識を習得し、現地を歩きながら、環境の美しさに触れ、「蔵王の魅力」に気付く。

②期日

- ＜第1回＞ 令和6年6月 9日（日）
- ＜第2回＞ 令和6年7月20日（土）
- ＜第3回＞ 令和6年9月21日（土）～9月22日（日）

③参加者数

- ＜第1回＞ 募集20人 申込29人 参加20人
- ＜第2回＞ 募集20人 申込31人 参加20人
- ＜第3回＞ 募集20人 申込21人 参加14人

④活動内容と日程

＜第1回＞

時刻	活動内容
8:45	開講式
9:00	見学・講義「二つの川の物語」
9:50	蔵王古道登山（峩々温泉～すみかわスノーパーク、大黒天～刈田嶺神社奥宮～刈田無料駐車場）
15:40	閉講式

＜第2回＞

時刻	活動内容
9:00	開講式
9:20	講義・演習 「猟師目線の自然の恵みと危険回避」
13:00	沢登り～つばの滝を見に行こう～
15:30	閉講式

＜第3回＞

時刻	第1日目
10:10	開講式
10:20	講義「山の安全について」
13:00	講義「蔵王の山々について」
15:15	自由散策 ※雨天の為、内容を変更して実施
18:30	講義・演習「二つの川の恵みと災害」
時刻	第2日目
9:00	講義・演習「自然との共生について」
11:00	蔵王ジオパーク構想 松川エリア ジオツアー（澄川・濁川合流点～松川河岸段丘～ございんホール（昼食）～とんがり山～疣岩円形分水工）
15:50	閉講式

⑤講師

- ＜第1回＞ 佐々木知明氏 浦川 明彦氏 渡邊 典男氏
（蔵王自然の家登山支援ボランティア）
- ＜第2回＞ 前澤 裕之氏（蔵王ジビエレザー&ファー代表）
我妻 定男氏（蔵王自然の家登山支援ボランティア）
- ＜第3回＞ 佐々木 知明氏 小室 美雪氏 渡邊 典男氏
我妻 定男氏（蔵王自然の家登山支援ボランティア）
蔵王ジオパーク推進協議会

⑥参加経費

- ＜第1回＞ 400円
- ＜第2回＞ 800円
- ＜第3回＞ 3,000円

⑦アンケートから

- ＜第1回＞
 - ・個人では見られないような所や、古道を歩いてこそ見られる場所など、蔵王を知る良い機会となった。講師の方の説明もわかりやすかった。
- ＜第2回＞
 - ・沢登りは初めての体験でよかった。我妻講師の沢沿いの植物や子供のころの遊びなど蔵王の生活や文化を理解するうえで勉強になった。前澤講師の話も蔵王の自然を深く理解することに役立った。クマよけスプレーの実射体験は企画としてよかった。
- ＜第3回＞
 - ・今日は山登りがしたかったけど、天気の見方や地形などを学べてとても勉強になりました。蔵王を知るたびに好きになります。ありがとうございました。

⑧担当者から

- ・年度当初に1年間のテーマ設定を行ったことで、事業のねらいが明確になり、活動内容を検討する際にも一貫性を担保することができた。
- ・3回目は天候不良で初日の登山ができなかったが、蔵王ジオパーク協議会との連携のもとテーマに沿ったジオツアーを実施することができ、参加者からは好評であった。（担当：村上）



(6) リフレッシュ in 蔵王

【みやぎ環境税活用事業】

①趣旨

蔵王での自然体験活動を通して、五感を刺激したりリラックスしたりすることで、日常のストレスを解消するなど、心身のリフレッシュを図る。

②期日

令和6年11月9日(土)～10日(日)

③参加者数

- ・募集人数 30人程度
- ・申込人数 15人
- ・参加人数 13人

④活動内容と日程

時刻	第1日目
9:30	受付
10:00	であいのつどい
10:30	自然散策 遠刈田公園遊歩道散策
11:30	昼食と環境講話 ジビエ料理とカフェ「ZAZAO」 食べ歩きやお土産ショッピング 遠刈田温泉街
16:30	入所のつどい
17:30	夕食 リフレッシュ in 蔵王スペシャルメニュー
18:30	創作活動 木のアクセサリーづくり
19:30	入浴、リラックスタイム
22:00	消灯、就寝
時刻	第2日目
6:00	起床
7:00	朝のつどい
7:30	朝食
9:30	焚火・アウトドアクッキング
9:30	焼きマシュマロ・焼きりんごづくり
11:30	わかれのつどい・解散

⑤講師

片岡 光司氏

(蔵王自然の家登山支援ボランティア)

前澤 裕之氏 (蔵王ジビエレザー&ファー代表)

⑥参加経費

2,500円

⑦アンケートから

- ・アウトドアクッキング最高でした。おしゃべりで盛り上がり、時間が過ぎるのも忘れて、何より晴天の下で素晴らしい気持ちになりました。
- ・アクセサリーづくり、交流会、焚火・アウトドアクッキングと初めての方を含め様々なお話ができたこと、とても楽しかったです。
- ・ゆったりハイキングする、自然を観察する、きのことりなど楽しかったです。山菜、星空観察会など、またお願いしたいです。
- ・遊歩道の見晴らしの良いところでお茶休憩をしたときに「リフレッシュ」が一番強く感じました。視覚・嗅覚・味覚、体の調子が絶妙にいい感じでした。
- ・焚火をしながら一緒の班の方々と色々なお話がゆっくりできて本当にリフレッシュできました。
- ・木のアクセサリーづくり。初めてでしたが、とても楽しかったです。
- ・ゆったりリフレッシュできました。大変お世話になりました。

⑧担当者から

- ・行楽地、観光地として親しまれている蔵王で、自然に触れながらゆったりと過ごすことができるプログラムを設定し、参加者から高い評価を得ることができた。
- ・参加者同士が交流を深め、ストレス解消やリラックスに繋げることができた。
- ・ジビエ料理を食べたあとに野生動物との共生や駆除された動物の活用についての話を聞くことで、環境について考える機会を持つことができた。
(担当：半田)



(7) みやぎ県民大学

「白銀の蔵王 冬の森探検」

①趣旨

講義やスノーシュートレッキングを通して、蔵王の自然の美しさや環境について考える。

②期日

令和7年2月16日(日)

③参加者数

- ・募集人数 20人
- ・応募人数 26人
- ・参加人数 19人

④活動日程

時刻	活動内容
9:15	受付
9:30	開講式
9:45	講義「冬山登山について～」
11:00	スノーシュー合わせ
11:15	スノーシュートレッキング開始 (オオルリコース～五本ナラ)
12:10	昼食～雪上でランチ～
12:40	雪洞作り
13:30	スノーシュートレッキング再開
14:50	スノーシュートレッキング終了 スノーシュー片付け
15:00	閉講式 解散

⑤講師

佐藤 芳樹 氏 (自然の家登山支援ボランティア)

⑥参加経費

300円

⑦アンケートから

- ・私の中では冬山は、スキーだけで、登るのはタブーでした。でも、芳樹先生のお話を聞き、冬山を何も知らなかったんだと知りました。単独登山なので、近場で楽しみたいと思います。
- ・大変楽しかったです。また機会がありましたら、よろしくお願いします。
- ・雪山ははじめてでしたが、楽しく歩くことができました。また、遊びに来たいです。
- ・とても楽しく参加させていただきました。講義をもっと聞きたかったです。

- ・雪洞を作ってみせていただいたのがすばらしかったです。実際にスコップを持ってみたら、とても重くて無理だとは思いましたが…。いつも少人数で歩いていますが、このような大人数での活動は楽しいなと思いました。
- ・体はつらくなりましたが、気持ちのよい汗をかきました。雪山という自然にふれ、気分は晴々としています。ありがとうございました。
- ・非常時の対応がとてもよく分かった。シミュレーションとして頭に入れておくだけでも安心できる。道具について先生の言葉「とりあえずいろいろ使ってみる」はとても納得した。宝のもちぐされにならないように使ってみるのは良いと思った。外国の山にも登ってみたいと思った。少しずつレベルアップして、安全に楽しく山行できればいいですね。本当にありがとうございました。
- ・事前案内、とてもキメ細かく丁寧ですごく感じが良かったです。職員スタッフ全員での体制もありがたく感じました。障害のある皆もこういう時間を経験できると良いなと思いました。

⑧担当者から

- ・蔵王自然の家登山支援ボランティアの佐藤 芳樹氏より、「冬山登山について」という題で講義を行いました。今まで登頂した国内、海外の山の経験や、冬山登山の魅力、危険性、ビバークするときの方法について分かりやすく話していただき、参加者も興味深く聞いている様子でした。
- ・えぼしスキー場近くで、スノーシュートレッキングを行いました。オオルリコースを通り、五本ナラの付近で、ビバークしたときの雪洞作りを行いました。実際の雪洞を作り、いざという時の方法を学ぶことができました。(担当：永田)



4 一般

蔵王自然の家フェスティバル

①趣旨

県民に自然体験活動を通して楽しく学習する機会を提供し、自然の家の施設や活動について理解を深めてもらい、今後の利用促進の一助とする。

②期日

令和6年10月20日(日)

③参加者数

- ・募集人数 自由参加
(ニジマスつかみなど、一部事前申込制)
- ・参加人数 473人

④活動内容と日程

時刻	活動内容
9:30	受付開始
10:00	各コーナー活動、販売開始
14:00	各コーナー活動、販売終了
15:00	片付け作業終了

《創作コーナー》

泉岳自然ふれあい館…竹のマイはしづくり
志津川自然の家…マイフォークなど
松島自然の家…空き缶ランタン
ことりはうす…ことりマグネットづくりなど

《体験・販売コーナー》

白石工業高校(体験)
機械部、電気部、工業化学部、建築部
柴田農林高校(販売)

《フード・産直販売コーナー》

遠刈田温泉朝市…産直品販売
ナルミ・キッチン…かんのん焼き販売
株式会社仙台食育舎…芋煮汁販売など

《体験コーナー(外部団体)》

OUTDOORS MAN…薪わり体験など
NPO法人仙台スラックライン…スラックライン体験

《体験コーナー(蔵王自然の家)》

フィールドヨガ…午前、午後の2回開催
森の達人と歩く野鳥の森トレッキング
スコアオリエンテーリング大会
ニジマスつかみ…午前、午後の2回開催

⑤講師

泉岳自然ふれあい館2名
志津川自然の家4名
松島自然の家2名
ことりはうす4名
片岡 光司氏(トレッキング)
西間木 由美氏(フィールドヨガ)

⑥活動アシスタント(敬称略)

櫻井 溪 山村 美唯 菊田 優羽
保坂 大 富澤 梨々花 佐藤 有紗

⑦参加経費(一部を掲載)

- ・ニジマスつかみ 1匹270円
- ・フードコーナー 芋煮300円 等
- ・松島自然の家 空き缶ランタン50円
- ・泉岳自然ふれあい館 竹のマイはし無料
- ・スラックライン200円
- ・薪割り、焼きマッシュマロ200円

⑧アンケートから

- ・(ニジマスつかみについて) 魚を食べるのが好きになったそうです。親としてうれしくなりました。
- ・(フィールドヨガについて) 青空を眺めながらのヨガ、とても気持ちよかったです。
- ・(トレッキング) 森の知識を教えてくれて、森の中を気持ちよく歩くことができました。
- ・屋外より屋内が好きな子供が、外遊びを楽しむことができました。
- ・秋の気持ち良い天気の下、自然を感じる活動ができてよかったです。
- ・寒かったので温かい料理や火を焚いているところがあって安心しました。

⑨担当者から

- ・初実施の「フィールドヨガ」会場は人が集まる場所から適度に離れ、また、日当たりのよい、人目に付かないエリアで実施し、好評だった。
- ・ヨガやトレッキングを実施したことで、従来多く見られた「親子・家族連れ」に加え、成人の参加者を増やすことができた。
- ・関係団体と協力してスタンプラリーを設置したこと、参加賞を設定したことで参加者と団体の接点を作ることができた。
- ・各会場に足を運んでもらうために用意したスタンプラリーが効果的であった。

(担当：武山)



Ⅲ 受け入れ事業（活動例）

1 夏型活動例

(1) 小学校A

①活動タイプ 1泊2日型（宿舎泊）

②時期 6月上旬

③参加者 5学年

④宿泊学習のめあて（例）

○大自然の中で、宿泊体験を通じた集団生活をしながら、

- ・誰とでも仲良くし助け合う。
 - ・素早く行動し進んで仕事をする。
 - ・決まりや時刻を守りグループで行動する。
 - ・自ら考え規則正しく生活する。
 - ・自然に親しみ自然を大切にす。
- 以上の事を自分自身の体験を通して学び、健全な心身を育てる。

⑤日程

< 1日目 >

時刻	活動内容
7:30	学校集合・出発
9:00	自然の家到着
9:30	であいのつどい
10:00	◇狐が森トレッキング開始 自然の家→熊岩→ハートランド
12:00	ハートランド着（昼食、休憩）
14:00	ハートランド発 復路
15:30	自然の家到着
17:00	夕べのつどい
17:30	夕食
19:00	◇キャンプファイヤー
20:15	入浴
21:30	就寝

< 2日目 >

時刻	活動内容
6:00	起床
7:00	朝のつどい
7:30	朝食
8:30	荷物移動
9:30	野外炊飯説明
10:00	◇野外炊飯開始
12:30	後片付け
13:30	野外炊飯終了
14:15	わかれのつどい
14:30	自然の家出発
16:00	学校到着

(2) 小学校B

①活動タイプ 2泊3日型（宿舎+山小屋）

②時期 9月上旬

③参加者 5学年

④宿泊学習のめあて（例）

- ・自然の美しさ、雄大さに触れる。
- ・思いやりを持ってお互いに協力し合う。
- ・自分の役割を自覚し進んで行動する。
- ・決まりを守って生活する。
- ・自分の良さに気づき、仲間の良いところを見つける。

⑤日程

< 1日目 >

時刻	活動内容
7:30	学校集合・出発
9:00	登山口到着、オリエンテーション
9:30	◇登山開始 刈田無料駐車場～刈田岳山頂～ 刈田レストハウス（休憩）～馬の背～ 熊野岳山頂（昼食）～馬の背～ 刈田無料駐車場
14:00	登山終了
14:30	登山口出発
15:30	自然の家到着、であいのつどい
17:00	夕べのつどい
17:30	夕食
19:00	◇ナイトハイク
20:30	反省会・入浴
21:45	就寝

< 2日目 >

時刻	活動内容
6:00	起床
7:00	朝のつどい
7:30	朝食
8:30	荷物移動（宿舎から山小屋へ）
9:00	◇スコアオリエンテーリング
12:00	昼食（弁当）
12:45	グループ活動 ◇自然観察◇探検散歩 ◇スタンプ練習◇自由遊び
14:15	山小屋の荷物整理
14:30	◇野外炊飯開始
17:30	後片付け
19:00	◇キャンプファイヤー
20:30	反省会・シャワー
21:10	班長会議
21:45	就寝

< 3日目 >

時刻	活動内容
6:00	起床
6:30	◇野外炊飯（スピード朝食）
9:00	荷物移動
9:30	◇ニジマスつかみ
12:00	昼食（弁当）
13:00	わかれのつどい
14:30	学校到着

< 3日目 >

時刻	活動内容
6:00	起床
7:00	（朝のつどい）
8:45	荷物移動
9:00	◇野外炊飯
12:00	後片付け
13:00	野外炊飯終了
14:00	（わかれのつどい）

(3) 中学校

- ①活動タイプ 2泊3日型（宿舎連泊）
- ②時期 5月中旬
- ③参加者 1学年
- ④宿泊学習のめあて（例）
 - ・集団の一員としての役割と集団生活のルールを身に付ける。
 - ・活動を通して協力することの大切さを体験する。
 - ・自然に親しみ、学校では体験できない楽しさを知る。
 - ・集団での活動を通して生徒間そして教師と生徒の親睦を深める。

⑤日程

< 1日目 >

時刻	活動内容
9:30	自然の家到着、（であいのつどい）
10:00	◇ハイキング ・自然の家→ハートランド （昼食）→自然の家
15:30	自然の家到着
16:00	スタンプ練習
17:00	（夕べのつどい）
17:30	夕食
19:30	入浴
22:00	就寝

< 2日目 >

時刻	活動内容
6:00	起床
7:00	（朝のつどい）
7:30	朝食
9:00	◇スコアオリエンテーリング
12:00	途中班ごとに昼食
13:00	スコアオリエンテーリング終了
14:00	ニジマスつかみ～自然観察
17:00	（夕べのつどい）
17:30	夕食
18:30	◇キャンプファイヤー
21:00	入浴
22:00	就寝

(4) スポーツ少年団・子ども会

- ①活動タイプ 1泊2日型（宿舎泊）
- ②時期 7月下旬
- ③参加者 児童生徒
- ④団体の種類及び構成
 - ・少年野球の少年団
 - ・小学生の中高学年男子とその保護者
- ⑤宿泊学習のめあて（例）
 - ・みんなで協力し助け合いながら楽しく活動する。
 - ・自然に親しみ自然を大切にすること。

⑥日程

< 1日目 >

時刻	活動内容
8:00	集合・出発
10:00	自然の家到着
10:30	（であいのつどい）
11:00	自然散策（昼食）
14:30	◇野外炊飯
16:30	夕食
19:00	◇ナイトハイク
20:30	入浴
21:30	就寝

< 2日目 >

時刻	活動内容
6:00	起床
7:00	（朝のつどい）
7:30	朝食
8:30	荷物移動
9:30	◇沢登り（小阿寺沢コース）
	昼食（弁当）
12:00	（わかれのつどい）
13:30	解散後・ことりはうす見学

2 冬型活動例

(1) 小学校A

- ①活動タイプ 1泊2日型
 ②時期 1月下旬
 ③参加者 4年20人 引率4人
 ④日程

<1日目>

時刻	活動内容
10:30	(であいのつどい)
11:00	スキーウェアレンタル
12:20	スキーオリエンテーション
13:00	スキー活動(自然の家ゲレンデ)
15:30	スキー活動終了
16:00	活動責任者・講師担当者打合せ
17:00	(タベのつどい)
17:30	夕食
18:30	入浴
20:00	DVD鑑賞会(オリエンテーション室)
21:00	班長会議
22:00	就寝

<2日目>

時刻	活動内容
6:00	起床
7:00	(朝のつどい)(退所式を兼ねる)
7:30	朝食
8:20	荷物移動
8:40	バス乗車
9:15	スキー活動(えぼしスキー場)
11:45	昼食(高原レストハウス)
14:00	スキー活動終了、バス乗車 ・スキー片付け
15:00	自然の家退所



(2) 小学校B

- ①活動タイプ 2泊3日型
 ②時期 2月上旬
 ③参加者 5年49人 引率6人
 ④日程

<1日目>

時刻	活動内容
10:30	(であいのつどい)
11:00	スキーウェアレンタル
12:20	スキーオリエンテーション
13:00	スキー活動(自然の家ゲレンデ)
15:30	スキー活動終了
17:00	(タベのつどい)
17:30	夕食
18:30	ゲーム集会(プレイルーム)
19:30	入浴、班会議
22:00	就寝

<2日目>

時刻	活動内容
6:00	起床
7:00	(朝のつどい)
7:30	朝食
8:45	バス乗車
9:30	スキー活動(えぼしスキー場)
12:00	昼食(レストランえぼし)
15:30	スキー活動終了、スキー場出発
17:00	(タベのつどい)
17:30	夕食
19:00	入浴、班会議
22:00	就寝

<3日目>

時刻	活動内容
6:00	起床
7:00	(朝のつどい)
7:30	朝食・荷物移動
9:30	スキー活動(えぼしスキー場)
11:30	昼食(レストランえぼし)
13:30	えぼしスキー場出発
13:50	スキー板・ウェア返却
14:45	(わかれのつどい)、退所



(3) 中学校

- ①活動タイプ 2泊3日型
- ②時期 1月下旬
- ③参加者 1年7人 引率3人
- ④日程

<1日目>

時刻	活 動 内 容
10:30	(であいのつどい)
11:00	スキーウェアレンタル
12:20	スキーオリエンテーション
13:00	スキー活動(自然の家ゲレンデ)
15:30	スキー活動終了
17:00	(タベのつどい)
17:30	夕食
19:00	入浴
20:00	勉強会(プレイルーム)
22:00	就寝

<2日目>

時刻	活 動 内 容
6:00	起床
7:00	(朝のつどい)
7:30	朝食
8:45	バス乗車
9:15	スキー活動(えぼしスキー場)
12:15	昼食(レストランえぼし)
15:10	スキー活動終了、バス乗車
17:00	(タベのつどい)
17:30	夕食
18:30	入浴
19:00	勉強会(プレイルーム)
22:00	就寝

<3日目>

時刻	活 動 内 容
6:00	起床
7:00	(朝のつどい)(退所式を兼ねる)
7:30	朝食
8:15	荷物移動
9:00	バス乗車
9:30	スキー活動(えぼしスキー場)
12:30	スキー活動終了、昼食(レストランえぼし)
13:30	バス乗車
	スキー、スキーウェア等返却
14:20	自然の家退所

(4) スポーツ少年団・子ども会

- ①活動タイプ 1泊2日型
- ②時期 1月下旬
- ③参加者 22人 引率3人
- ④日程

<1日目>

時刻	活 動 内 容
10:30	(であいのつどい)
11:00	スキーウェアレンタル
12:20	スキーオリエンテーション
13:00	スキー活動(自然の家ゲレンデ)
15:30	スキー活動終了
17:00	(タベのつどい)
17:30	夕食
18:30	スノーキャンドル
19:30	入浴
22:00	就寝

<2日目>

時刻	活 動 内 容
6:00	起床
7:00	(朝のつどい)(退所式を兼ねる)
7:30	朝食
8:30	荷物移動
8:50	バスで移動
9:15	スキー活動(えぼしスキー場)
11:30	スキー活動終了
11:45	昼食(えぼしスキー場で独自に注文)
12:45	バス乗車
13:30	スキー、スキーウェア等返却
14:00	自然の家退所



3 キャンプ

(1) デイキャンプ

<家族>

- ①活動タイプ 日帰り (デイキャンプ)
- ②時 期 8月中旬
- ③参加者 4人
- ④日 程

時刻	活 動 内 容
10:00	入所
11:00	けやきの下でのんびりタイム
12:20	昼食 (持参したもの)
15:00	キャンプファイヤー場で花火
16:00	自然の家 退所

(2) キャンプ (宿泊)

<家族>

- ①活動タイプ 1泊2日型 (キャンプ)
- ②時 期 5月下旬
- ③参加者 3人
- ④日 程

<1日目>

時刻	活 動 内 容
14:00	入所
14:15	テント設営 (テントサイト)
16:00	夕食準備
17:00	夕食
18:00	夕食の片付け
18:30	テントの前で焚火
19:30	シャワー
20:00	スノーキャンドル
21:00	就寝

<2日目>

時刻	活 動 内 容
7:00	起床
7:30	朝食準備
8:30	朝食
9:30	テント片付け
10:00	自然の家 退所

<親子サークル>

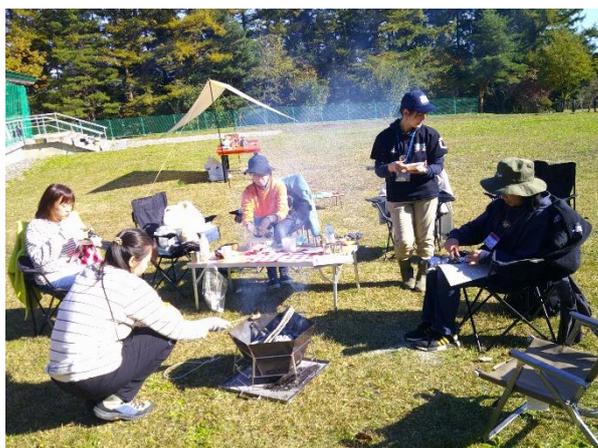
- ①活動タイプ 1泊2日型 (キャンプ)
- ②時 期 9月中旬
- ③参加者 52人
- ④日 程

<1日目>

時刻	活 動 内 容
14:00	入所
14:15	広場遊び
16:00	テント設営 (テントサイト)
17:00	夕食準備
18:00	夕食
18:30	夕食の片付け
20:00	施設のシャワーか近隣の温泉で入浴
21:00	就寝

<2日目>

時刻	活 動 内 容
7:00	起床
7:30	朝食準備
8:30	朝食
9:30	テント片付け
10:00	自然の家 退所



IV 活動を振り返って

1 支援活動の在り方を探る

A 夏型の活動から (小・中学校)

(1) 夏型活動 (4～12月) の現状

<夏型利用の推移> 令和6年度泊数 単位：校

	計	日帰り	1泊	2泊	3泊以上
令和3	73	15	55	3	0
令和4	66	6	57	3	0
令和5	67	6	58	3	0
令和6	57	4	51	2	0

	計	日帰り	1泊	2泊	3泊以上
小学校	49	1	46	2	0
		2.0%	93.9%	4.1%	0%
中学校	8	3	5	0	0
		37.5%	62.5%	0%	0%

※支援学校の小学部1校及び中学部1校を含む

今年度の小学校利用は全体の48%を占め、中学校が6%であった。小・中学校数は、昨年度と比較し、10校減となった。主に県内遠方の小中学校の利用数が減少したことに加え、学校の統廃合による利用団体数の減少が影響したものと考えられる。宿泊日数については、2泊3日利用が小学校2校、1泊2日利用が90%以上を占め、日帰り利用は小学校1校、中学校3校であった。それぞれのねらいに合わせた活動を実施しており、キャンセルや延期等の変更はなかった。

2泊3日利用の団体においては、プログラムを詰め込まず、できるだけ時間に余裕を持たせた構成が効果的で、体験活動の充実を図ることができたようであった。

(2) 今年度の利用から

学校団体の利用目的として、主に野外活動体験、集団生活体験を挙げている。活動内容は「野外炊飯」が最も多く、次いで「登山」「キャンプファイヤー」「ニジマスつかみ」と続いた。活動プログラムの立案は、児童生徒の実態把握から始まり、その活動を通して児童生徒に何を求めるのか、明確なねらいを持つことが大切である。児童生徒の主體的な活動、みんなで考え、協力し合う場面をどこに設定するのか、教育的意義を活動プログラムの中に紐づけていく必要がある。「野外炊飯」のカレー作りは、みんなでおいしいカレーを作るにはどうしたらよいか、どんな工夫をしたらよいか、場の設定や

声がけによって児童生徒に意欲を持たせ、挑戦する力を育ていけるよう支援を充実させる。

2年目を迎える新野外炊飯場は、活動マニュアル等を改良しながら整備してきたが、今後もさらに効果的な活動に向けて充実を図っていききたい。

「登山」については、刈田・熊野岳方面、石子遊歩道・千年杉コースを選択する団体が多かった。今後もコース点検や整備を重ね、利用者の安全安心な活動に努めたい。

(3) 次年度に向けて

団体のねらいに応じた支援を行い、その成果や課題をその後の学校生活に生かせるような助言につなげていきたい。また、利用者の安全安心につながる環境整備、事前準備等に継続して取り組み、どんな方にもご利用いただける支援体制・施設管理体制を整備していききたい。

B 冬型の活動から (小・中学校)

(1) 冬型活動 (1～3月) の現状

冬型利用の学校は中学校1校のみとなり、1泊2日の活動であった。冬型の学校利用は減少の一途をたどり、今後も増加の可能性は低い。スキー活動を中心とした冬型の学校利用の減少については本所の大きな課題となっている。

(2) 今年度の利用から

今年度は、最大積雪が約80cmと雪に恵まれた。スキー活動を実施した中学校は、十分な積雪となった本所のゲレンデやスキー場で、安全に活動することができた。

(3) 次年度に向けて

学校におけるスキー活動の減少傾向はさらに進むと予想される。アルペンスキーの設置準備については、縮小する方向で進めていくが、スノーシュートレッキングや歩くスキー、そりすべり等、様々な冬の活動の良さもPRしながら、今後も支援体制の充実を図っていききたい。

C その他 (小・中学校以外)

幼稚園や保育園をはじめ、高校・大学、ボーイスカウトや各種スポーツ団体、子供会、ジュニアリーダーの研修会、そして一般のご家族等が利用団体全体の半数を占めた。特に新規では、大学のサークル団体や英会話スクール等の利用が複数団体あり、新たな利用ニーズが見られた。

利用団体のねらい達成に向け、柔軟な体制づくりと効果的な支援体制を構築しながら、プログラムの立案や利用当日の活動等の支援に、所員一同、誠心誠意努めていきたい。

(担当：相原)

2 登山支援ボランティア・アシスタント感想

登山支援ボランティアとして

蔵王自然の家登山支援ボランティアの会
佐藤芳樹

昨年3月に教職を引き、それと同時に自然の家の登山支援ボランティアに登録しました。とはいえ、完全に仕事からリタイアしたわけではなく、平日はなかなか動けないので、ボランティアとしてお手伝いできたのは丸森町内の小学校2校だけでした。

現職時代から感じていたことですが(自然の家の職員としても3年間勤務しました)、子供たちは、1泊ないし2泊の自然体験活動を通して大きく成長します。その様子を間近で感じられるというのは本当に幸せだし、だからこそ、この機会に子供たちの力を最大限に伸ばしてやりたいと思いながら指導にあたったものです。

しかし、近年、この子供たちの自然体験活動の機会がどんどん失われているような気がしてなりません。自然の家での宿泊体験もほとんどが1泊2日になっていると聞きます。蔵王自然の家活動プログラムの中で目玉であるはずの「登山」も、南蔵王縦走や聖山平などの困難なコースは避けられ、自然の家周辺のハイキングコースが人気であるようです。

私も長く学校の教員として勤めてきましたので、その理由が分からなくもありません。登山や沢登りを始めとした自然体験のアクティビティーには常に危険が伴うし、その責任は校長や引率の教員にあります。指導にはそれなりのスキルや、実施までの準備も必要ですから、それを回避したい気持ちも分かります。学校現場では、教員の「働き方改革」の一環で、行事の見直しや時間外勤務の縮小も進められています。

一方で、「こういう世の中だからこそ」、子供たちの自然体験活動の機会をもっともっと増やしてあげたいと思うのです。自然は人に謙虚さを教えてくれるし、人と人が協力しなければならぬことを学ばせてくれます。先生があれこれ諭すよりも、自然体験活動そのものが教え、成長させてくれるのです。これは、長年にわたりその思いを大切にしながら子供たちと向き合ってきた者としての、確信であり自信でもあります。

今後も、自分なりの信念に基づき、微力なが

ら子供たちのために尽くしていきたいと思っています。また、それを共に推進する仲間や指導者の育成にも努めたいとも思います。自然の家の先生方、ボランティアの皆さんとも改めて連携を深めたいと思っていますので、どうぞよろしくをお願いします。(丸森町教育委員会)



満喫！蔵王の夏より



みやぎ県民大学「学校等開放講座」白銀の蔵王
冬の森探検より

ZAVOでの活動を振り返って

蔵王自然の家ボランティアの会
東北学院大学 4年
佐藤 有紗

大学2年生の春、蔵王自然の家に「ZAVOに入りたいです。」と急に電話をかけた時から、私のZAVOでの活動が始まりました。この時は同じ大学の人どころか、知り合いすら一人もおらず、これから先の活動に参加するか悩むこともありましたが、しかし、4年生になった今振り返ると、多くの学びを得ることができたことから、続けてきてよかったなと感じています。

昨年度までも多くの主催事業にアシスタントとして参加してきました。今年度はZAVOとして最後の年ということもあり、養成講座や主催事業のアシスタントなどZAVOの全ての活動に申し込んだところ、全てに参加することができました。まさか全てに参加できるとは思っておらず、自分でもとても驚いています。

アシスタントとして活動していく中で、他のボランティアの人や所員の先生方、参加者の子供たちや保護者の方など多くの人と関わる機会がありました。様々な人と話すことで自分には無かった価値観を知ることや、活動の支援の方法など様々なことを学ぶことができました。数多くの主催事業に参加したことで、何度も自然の家で再会し声をかけて下さる参加者の方や、時には街中で偶然会い呼び止められることもあり、驚きながらもうれしく感じました。

今年度、特に印象に残っているアシスタントは8月に行なわれた5泊6日の「チャレンジ in 蔵王」です。この活動では、アシスタントが自分の担当グループを持ち、6日間を過ごすという、ZAVOの活動の中では一番大きいものでした。今回のチャレンジでは、様々なことが起き、大変だなと感じつつも学ぶこともとても多く勉強になりました。特に、子供たちとの距離感や、広い視野を持って行動すること、アシスタントが全て手助けをす

るのではなく、子供たち自身に考えさせることなど、普段の生活ではなかなか学ぶことができないことを実際に経験しながら学ぶことができました。ここで学んだことは、4月からの生活にも必ず生かせることであると感じます。

蔵王自然の家では、多くの学びを得られただけではなく、所員さんやアシスタントの仲間たちと出会うことができました。中には自然の家以外でも交流が続く仲間もたくさんできました。この経験を通して、ZAVOを辞めずに続けてきてとても良かったと思います。

自然の家で学んだことをこれからの生活に生かしながら、日々学び続けてきたいと思います。そしていつか自然の家で働ける日を夢見て頑張ります。3年間ありがとうございました。



3 各種統計から

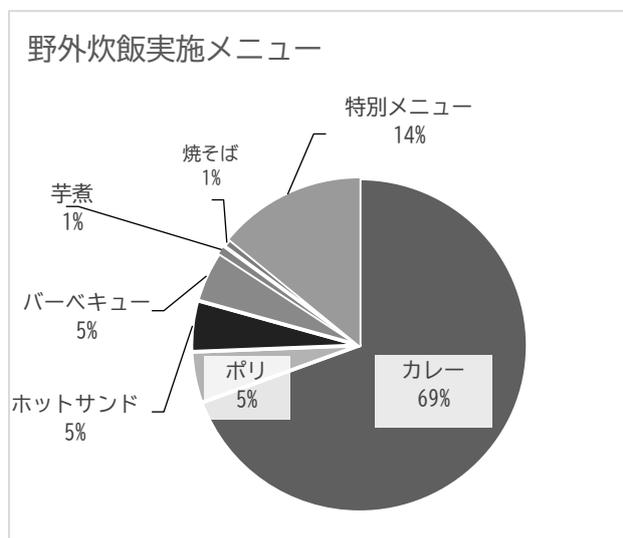
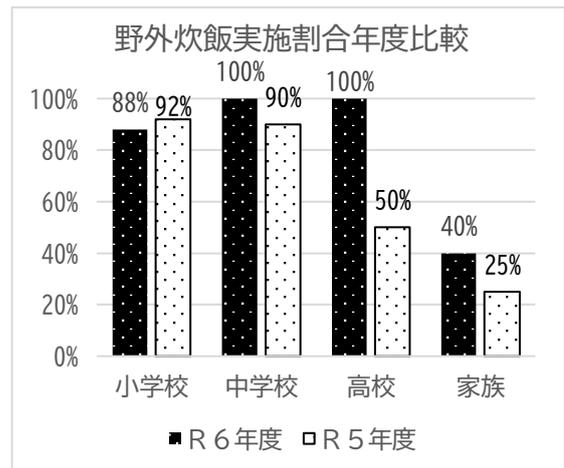
(1) 野外炊飯・食事関係

令和6年度（令和7年1月31日現在）は、食堂定食12,487食、野外炊飯5,156食、弁当1,199食、総計18,842食の食事を提供した。前年度（令和6年1月31日現在）の20,336食に対し約8%減であった。今年度は宿泊利用者数が前年度と比べて減少したため、食事注文数が少なくなったことが食数減少につながったと考えられる。

① 夏型活動での食事状況（4～11月）

・野外炊飯の実施について

全利用団体のうち、野外炊飯活動実施割合は約73%となり、前年度より約2%上昇した。しかし、小学校では実施割合が減少した。



メニュー選択の割合は、カレーが前年度より約1%増加した。一方で、ポリクッキングはコロナ禍前と同程度の割合まで大幅に減少した。また、主催事業などで野外炊飯を行うことが増え、特別メニューの実施割合が高くなった。

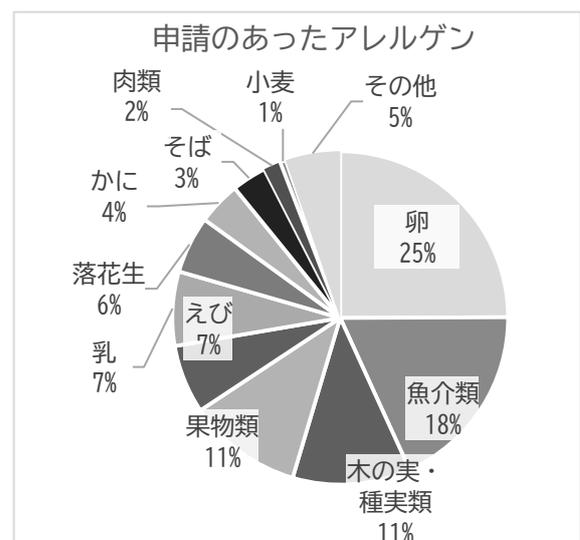
② 冬型活動での食事状況（12～3月）

冬型活動では朝食と夕食は食堂定食のみとなる。昼食は、ほとんどの団体がえぼしスキー場での食事であったが、2団体食堂を利用した（主催事業を除く）。

③ 食物アレルギー等対応について

調査票により利用者の状況を確認し、除去代替食等の対応を行った。今年度の対応希望者割合は4.2%で、前年度の4.3%からやや減少したが、ほとんど変わらなかった。

申請のあったアレルギーは、卵、魚介類、木の実／果物類の割合が多かった。食堂定食では、ハラール食（肉除去）4団体、持込2団体であった。野外炊飯においては、ルー変更対応が3団体、食材変更（※特例）対応が1団体あった。

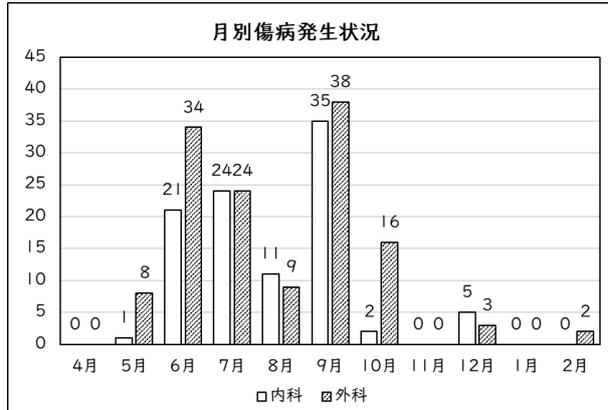


(2) 病気とけがの様子

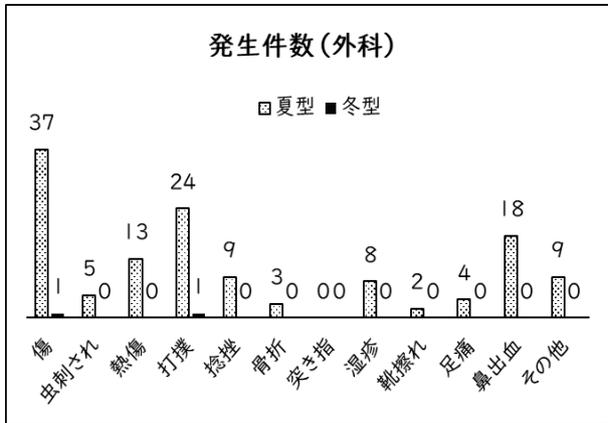
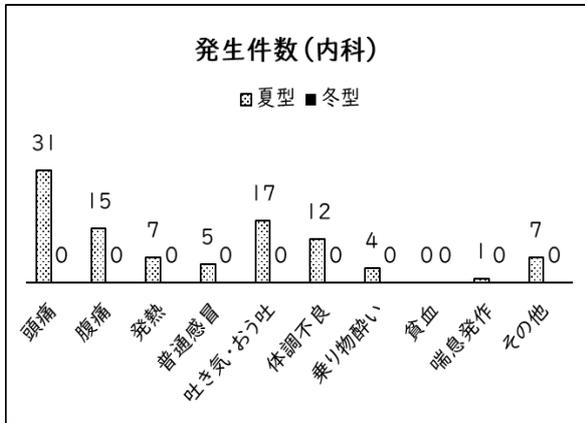
(R7年2月5日現在)

① 月別の傷病別発生件数

- ・内科、外科ともに9月が最も多かった。9月は利用者数が3番目に多く、帰宅した利用者や医療機関を受診した利用者も多かった。
- ・次に多いのは、宿泊利用者数が1番多い6月だった。登山・ハイキングでの不調や創作活動での切り傷が多かった。

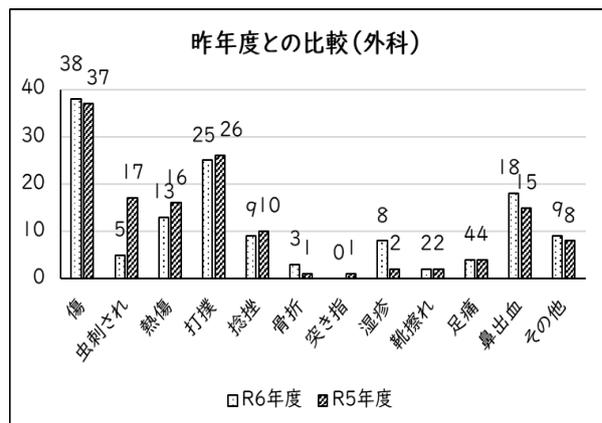
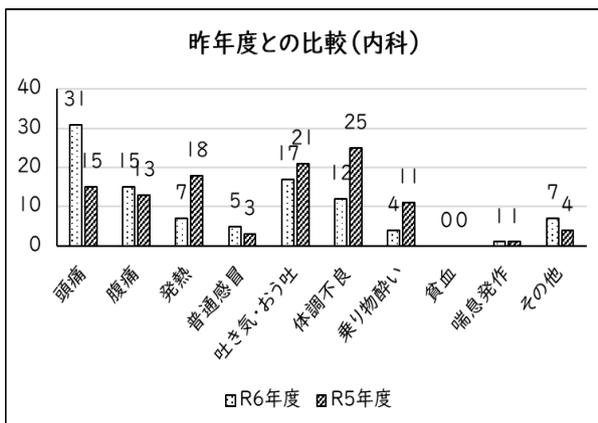


② 傷病別の発生件数



- ・発生件数が多かった傷病は、傷(37件)、頭痛(31件)、打撲(24件)、鼻出血(18件)、吐き気・嘔吐(17件)であった。

③ 傷病発生件数の昨年度との比較



- ・内科では、頭痛、腹痛、普通感冒の項目が増加している。
- ・外科では、傷、骨折、湿疹、鼻出血の項目が増加している。

④ 医療機関受診状況

- ・計6件
骨折(2件)、切り傷(1件)、捻挫(1件)、筋挫傷(1件)、ヘビ咬傷(1件)

(3) 活動の実施状況

① 団体が行っている主な活動内容

- ・幼稚園、保育園（ハイキング、沢遊び、ニジマスつかみ、創作活動、そり遊び）
- ・小中学校（登山、トレッキング、沢登り、スコアオリエンテーリング、キャンプファイヤー、野外炊飯、ナイトハイク、ニジマスつかみ、創作活動、スキー）
- ・高校（スノーシュートレッキング）
- ・一般団体（登山、野外炊飯、研修会、スキー、そり遊び）
- ・市町村教育委員会（ジュニア・リーダー研修、野外炊飯、スコアオリエンテーリング）
- ・子ども会関係（野外炊飯、キャンプファイヤー、沢登り）
- ・スポーツ少年団（合宿練習、レクリエーション、星空観察、キャンプファイヤー、野外炊飯）
- ・家族（ハイキング、広場遊び、スキー、雪遊び、そり遊び）

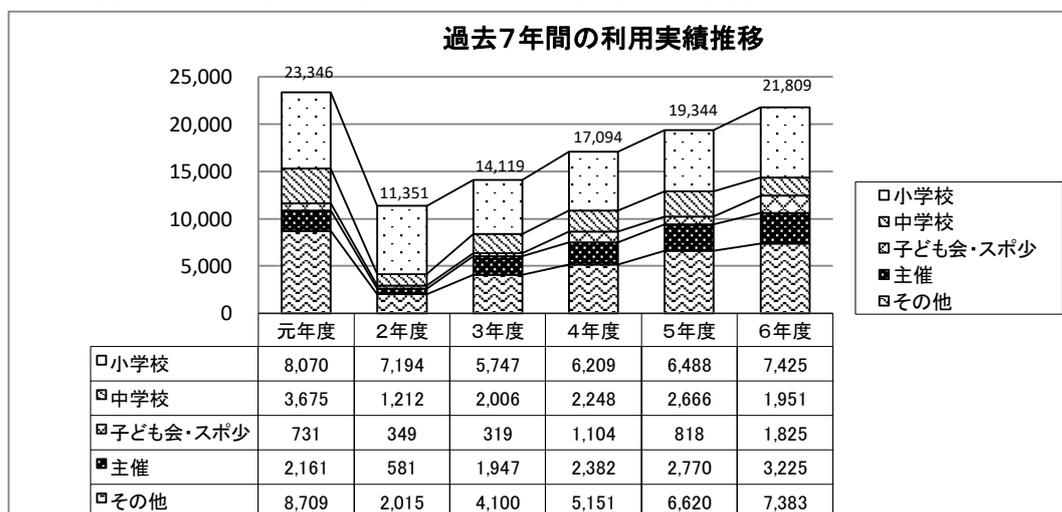
② 令和6年度の主な主催事業

- ・4月 スプリングフェスティバル
- ・5月 実地踏査会1、アウトドア体験塾、ZAO施設ボランティア養成講座1、満喫！蔵王
- ・6月 めざせ！蔵王マイスター1、実地踏査会2、蔵王に登ろう！山ガール1、実地踏査会2、親子で遊ぼうin蔵王
- ・7月 めざせ！蔵王マイスター2、実地踏査会3
- ・8月 チャレンジin蔵王、野外活動指導者研修会、満喫！蔵王の夏
- ・9月 めざせ！蔵王マイスター3、蔵王に登ろう！山ガール教室2
- ・10月 満喫！蔵王の秋、自然の家フェスティバル、蔵王でみんなとお泊まり会
- ・11月 リフレッシュin蔵王
- ・12月 ジュニア・リーダー上級研修会
- ・1月 スキー指導者研修会、ZAO施設ボランティア養成講座2
- ・2月 満喫！蔵王の冬、蔵王に登ろう！山ガール教室3、みやぎ県民大学
- ・3月 蔵王自然の家ボランティアの会（ZAVO）総会

③ 令和6年度の利用実績（利用層別延べ人数 2月11日現在）

未就学児	小学生	中学生	高校生	一般（大学生含）	引率者	計
1,187	10,281	2,318	437	5,538	1,581	21,342

④ 過去6年間の利用実績（団体別延べ人数）の推移（6年度は見込み）



- ※1 令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、4～5月は受け入れ業務を停止した。6月より屋外かつ日帰りの受入のみ再開、7月より宿泊利用団体受入を開始。
- ※2 令和2年7月以降は、所の新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインを作成、宿泊可能人数、食堂の人数等の密を避ける対策を行った。
- ※3 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、5、9、1、2月の宿泊利用のキャンセルや延期が発生した。家族等の少人数利用や日帰り利用が増えた。
- ※4 令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響は見られたが、延べ人数が令和元年度の実績に達した校種、団体が見られた。学校の統廃合が進み、予約数の減少が顕著になっている。
- ※5 令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い顕著な利用者数の増加が見られたが、暖冬の影響による雪不足により年度末の利用者数が伸びなかった。
- ※6 令和6年度は、5年ぶりに2万人以上の利用者となった。本所を利用する学校に対して、本所の利用についての出前による事前指導を行ったことや冬の日帰り利用についてのチラシの配布などにより増加したと考えられる。

(4)利用統計から

月	元年度		2年度		3年度		4年度		5年度		6年度		前年度比較数
	団体数	延べ人数											
4月	33	1,639	0	0	24	843	38	413	64	381	37	1,072	691
5月	97	3,893	0	0	56	723	57	1,716	101	2,534	70	1,828	-706
6月	74	2,903	30	108	61	1,790	40	2,615	78	3,073	124	4,100	1,027
7月	69	3,150	25	371	79	2,640	44	3,058	85	3,625	108	3,185	-440
8月	54	2,014	55	1,428	39	879	47	1,691	68	1,933	56	2,139	206
9月	74	4,468	57	3,557	29	1,404	60	2,331	71	2,488	70	3,282	794
10月	39	2,194	22	4,196	50	3,507	32	1,589	37	2,542	58	2,704	162
11月	22	388	20	484	24	897	42	385	25	283	42	974	691
12月	14	455	6	63	17	302	30	695	28	398	31	395	-3
1月	29	750	42	398	41	569	55	924	28	850	111	929	79
2月	48	1,492	36	639	69	509	75	1,581	45	900	60	945	45
3月	0	0	6	107	15	56	16	96	23	353	5	258	-95
合計	553	23,346	299	11,351	504	14,119	536	17,094	653	19,360	772	21,811	2,451

【各月ごとの概要】

- 4月 多人数宿泊団体は2団体少なかったが、GW前半に行った主催事業によって、昨年よりも利用者が約2.8倍増加した。
- 5月 前年度利用した団体が6月に変更したり、2泊していた団体が1泊になったりしたため、利用者が28%減少した。
- 6月 出前講座や宿泊団体が増えたことで、昨年よりも33%増加した。小中学校の利用も多かった。
- 7月 団体数は20団体ほど増加した。例年以上の宿泊団体（市町村教委など）があったが、1団体あたりの利用者人数の減少があった。
- 8月 2泊以上の団体が、昨年よりも多く、利用者が10%増加した。
- 9月 前年度に比べ、利用者が32%増加した。100人以上の団体の宿泊が多く利用者が増加した。
- 10月 主催事業や出前事業、他公所のフェスティバルとの連携により延べ利用人数が6%増加した。
- 11月 防災や創作の出前事業や100人以上の団体の宿泊により、今年の3.5倍増加した。
- 12月 出前事業がなかったが、宿泊団体が4件あり、昨年と同じくらいの利用者であった。
- 1月 積雪量が多く、学校や幼稚園や保育園にチラシを配布したこともあり、日帰りの雪遊びに来る家族が多かった。
- 2月 1月と同様に、雪遊びに来る家族や主催事業などがあり、利用者も5%増加した。
- 3月 スポーツ少年団や一般団体の利用による宿泊者数はあったが、利用団体は27%減少した。

おわりに

令和6年度も3月に入り、今年度も残すところわずかとなりました。例年以上の積雪に恵まれたこの冬、蔵王自然の家はスキーや雪遊びを楽しむ多くの利用者で賑わいました。新雪を踏む心地よさや銀世界に身を置く非日常感、何ものにも変え難い体験です。

さて、新型コロナウイルス感染症が収束に向かう中、今年度は約21,000人の方々にご利用いただきました。この1年を振り返りますと、受け入れ事業・主催事業ともに、蔵王の豊かな自然の中で、当初のねらいを十分に達成することができたと考えております。これもひとえに、ご利用いただきました皆様のご理解とご協力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

開所54年目を迎えた今年度は、小林所長の指導のもと、蔵王自然の家における「不易」と「流行」を見極めながら、伝統を継承しつつ新たな挑戦に取り組んだ1年でした。新たな試みとして「訪問型利用事前指導」や「参画型のピオトープづくり」を実施しました。「訪問型利用事前指導」では、宿泊体験活動の目的や意義、注意点等の確認だけでなく、児童生徒の自然体験学習への意欲づけ及び先生方とのねらいの共有により、効果的な体験学習を進めることができる支援を充実させるものとして取り組みました。また、藪を刈り取りと沼地整備から始まったピオトープづくりは、登山支援ボランティアのお力をいただきながら、利用者・主催事業参加者・ボランティアの方々が共に汗を流し、共に作り上げる喜びを共感することで、持続可能な里山環境の構築を目指しました。直接的な触れ合いや体験の共有が、より深い共感を生み、人材育成に繋がっていくことを再認識しました。蔵王自然の家では、今後も自然との触れ合いを通じて、生命の尊さや人と自然との共生について考える機会を提供したいと考えております。

今回で第49集となります実践記録集「えぼし」には、この1年間の活動のまとめを載せております。各事業の目的、参加者の声、今後の展望などを掲載しておりますので、ぜひご一読いただければ幸いです。

最後に、今年度蔵王自然の家をご利用いただいた皆様、そして活動を支えてくださった登山支援ボランティアやスキー講師の皆様、主催事業のアシスタントとして活躍したZAVOの皆様、心より感謝申し上げます。今後も皆様に愛される施設を目指し、職員一同努力してまいります。
(担当：相原)

令和6年度職員

所 長 小林 正道

次長（班長） 相原 みき

【総務担当】

次 長〈副班長〉 小池 重範
主 事 今野 秀隆
技 師（栄養） 鐵本 彩
主任技師 菅野 裕人
代替技師 佐藤 松光
業務補助 高橋 稔

【研修支援担当】

次長〈副班長〉（社会教育主事） 森 智弘
主 幹（社会教育主事） 半田 佳之
主 幹（社会教育主事） 村上 智幸
主任主査（社会教育主事） 武山 真一
主 事（社会教育主事） 永田 翔哉
技 師（看護） 齋 千恵子
技 師 半沢 真妃

蔵王少年自然の家の歌

安部辰夫 作詞
曾我道雄 作曲

♩ = 108~112はつらつと

The musical score is written on five staves. The first staff shows the key signature (one flat) and the time signature (4/4). The tempo is marked as ♩ = 108~112はつらつと. The score includes dynamic markings such as *mf*, *mp*, *f*, and *mf*. The lyrics are written below the notes.

1. たに がわのお と はやしにひび き たき
の しぶきー に にじたつと ころ あおぐやまな
み われらをまねく とも にまなぼ う よ
りーふか く しぜんのちえの ひかりもとめて

一、谷川の音 林にひびき

滝のしぶきに 虹たつところ
仰ぐ山脈 なみ われらを招く
ともにまなぼうより深く
自然の知恵の光求めて

二、緑の丘のかなたに遠く

海の潮の うしお かがやくところ
力あふれる われらのつどい
ともにすすもう手を組んで
奉仕と愛の心ひとつに

三、かっこうの声 森にこだまし

蔵王の峰に 雲わくところ
夢はふくらむ われらの胸に
ともにうたおう声高く
希望にみちた理想の歌を



宮城県蔵王自然の家



蔵王自然の家 所章

全体の形は蔵王の「ざ」の一文字を形どったものです。
蔵王連峰と御釜、そこから流れる澄川を白抜きし、
バックの青は紺碧の空を表しています。

〒989-0916

宮城県刈田郡蔵王町遠刈田温泉字上ノ原155-1

TEL : 0224-34-2101

FAX : 0224-34-2102

E-mail : zoseinn@pref.miyagi.lg.jp
HP : <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/zao-syounen/>
Fb : <https://www.facebook.com/zao.sizen>
Ig : https://www.instagram.com/zao_nature_retreat/